

令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：山都町立矢部中学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>「令和6年度学校版環境ISO」に取り組むにあたり、生徒・職員それぞれが左のような宣言項目を設け、実践してきた。</p> <p>職員会議で職員に今年度の「学校環境版ISO」の取組について共通理解を図った。</p> <p>生徒用は各教室、職員用は職員室に掲示し、生徒及び職員が常に環境ISOの取組を自覚できるようにした。</p>
行動	 <div data-bbox="509 873 675 1037">消灯の 呼び掛け ポスター</div>    <div data-bbox="515 1776 681 1895">印刷室の 回収BOX</div>	<p>【生徒の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●節電 → 教室移動の時の消灯を励行し、電力消費量を減らす取組を実施した。 ●節水 → 昨年度同様、引きつづきポスターでの節水の呼びかけを継続した。 ●校内緑化 → 整美委員を中心に、花植えや花壇の手入れを行い、校内緑化に努めた。 生徒がボランティアで授業開始前や放課後に校舎周辺の草取り、落ち葉掃きなどを行った。 ●その他→整美委員による古紙回収や、PTA 親子美化作業、資源回収など、リサイクル活動の実施を行った。 <p>【職員の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●節電 → こまめに教室やトイレの消灯の指導を行った。また、夏場は教室及び職員室でのクーラーの使用を、冬場は暖房の使用を可能な限り控えた。 ●節水 → 掃除の時のバケツ使用を徹底する指導を行った。 ●紙のリサイクル → 印刷室の廃棄用紙を整理整頓し、裏面が利用できる用紙を分別・整理し、再利用を励行した。 ●校内緑化 → PTA 親子美化作業、資源回収の実施、学級での落ち葉掃きの実施など、各職員が意識して緑化活動に努めた。

記録	 <p>水道代</p> <p>電気代</p>	<p>水道料金は前年と比較し、大きく下回る結果となった。職員からの水道の出しっ放し禁止の呼び掛けやポスターでの呼びかけにより生徒の節水の意識が高まったように思われる。なお、9月の利用料高騰については、9月にプールの授業を実施したことが原因であると考えられる。</p> <p>電気料金については、ほとんどの月で前年を上回る結果となった。原因は電気料金の高騰と思われ、電気の使用量では前年を下回っている。特に4月と8月の長期休業を含む期間は大きく下回る結果となっており、職員の節電意識が高まっていると言える。</p> <p>料金ベースでの比較は、正しい使用量の把握ができないため、使用量ベースでの比較・改善に取り組む。</p>
見直し		<p>今年度は前年度に行えなかった PTA 資源回収を実施し、リサイクル意識をもてる活動ができた。しかし、回収の仕方や周知が行き渡っておらず、回収量が乏しくなった。</p> <p>その他の活動については、前年と同様の取組がほとんどであった。水道料・電気使用量の結果を踏まえ、数値的な課題の周知と取組を行っていく。</p>

(2) 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒と職員が一体となって『節電』『節水』『校内緑化』『紙のリサイクル』の4項目に取り組むことができた。 ○ 整美委員を中心に花壇の手入れや花植え、清掃活動、古紙回収を実施することができ、委員会としてISOを意識した活動を行うことができた。 ○ PTA 親子資源回収を実施し、職員・生徒・保護者が一体となり、リサイクル意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取組としては昨年度同様の部分が多く、生徒全体の環境への意識向上には繋がらなかった。整美委員が行っている様々な活動を全校に広げ、学校全体で環境意識を向上させる。 ○ PTA の活動は準備が不十分な点があり、資源回収については目標の数値には届かなかった。以前までの資源回収と比べても回収量は少なかったため、準備や回収方法などに課題が見られる。 ○ 前年度の課題である電気・水道の数値化を実施できなかった。料金ベースではなく、使用量ベースで目標値を決め、学校全体で意識改善に取り組む。